

# 大会規定

## 1.大会の名称

令和 年度 第 回 東京都中学校サッカー新人大会

## 2.参加資格

- (1) 中体連に加盟している中学校の者。
- (2) その中学校の学校長により許可された生徒。  
ただし、クラブユース連盟を通して日本協会に3種登録している者は参加できない。

## 3.参加申込み・選手の登録・コーチのベンチ入り申請など

- (1) 支部大会を経て、本大会代表校となった加盟校は、定められた用紙「大会申込書と選手登録票」(HPからダウンロードしプリントアウトする)を使用し、A4サイズで1部作成の上、顧問会で本部に提出する。また、プログラム用の選手登録票の原稿を所定のアドレスに送信する。
- (2) 外部コーチがベンチ入りする加盟校は定められたIDを本部に提出すること。
- (3) 参加する加盟校は1加盟校1チームとし、1チームは30名までの選手を登録することができる。この際、登録する選手には、1番から99番までの背番号を、選手番号として登録しなければならない。正副のユニフォームには同じ番号をつけること。
- (4) 大会の参加費は7000円とし、納入した参加費は理由の如何にかかわらず返却しない。
- (5) 大会に参加するチームは、必ず審判員(1名)を帯同しなければならない。チームで用意できない時は、チームが代表となった支部の責任者と相談し、用意しなければならない。(原則として、帯同する審判員は、審判資格を持った成人とする。)
- (6) 上記の規定を遵守できなかったチームは失格処分となる。なお、次大会の参加申込権については、本部・規律フェアプレー委員会で裁定により、参加申込権を失うことがある。
- (7) 尚、予選最終試合で退場処分を受けた選手は本大会の初戦には出場することはできない。

## 4.試合方法・試合時間・その他

- (1) 参加チームによるトーナメント方式により行う。
- (2) 全て30分ハーフの60分ゲームで行う。勝敗の決しないときは、  
★1・2・3回戦 PK  
★準々決勝・準決勝・3位決定戦・決勝戦 延長10分(5分ハーフ) PK
- (3) 各大会ともハーフタイムのインターバルは7分とする。

## 5.出場権の授与

- (1) 各支部予選を経て参加チームを決定する。支部代表となったチームは、都大会の参加権を得るとともに参加の義務を負う。試合に出場できない場合は、抽選会前日までに、参加権を支部に返上しなければならない。
- (2) 都新人大会上位3チームには、支部予選を免除し、都夏季大会の出場権を与える。合同チームでも同様である。ただし、夏季大会において合同チームを解消した場合はシード権の対象外となる。そのシード権は、合同チームが所属していた支部に返還される。  
※なお、新人大会の4位チームが、地区大会を勝ち抜いて都夏季大会に出場した場合、組み合わせ抽選において、シードする。

## 6.競技規則

- (1) 各大会とも、この条文に規定されていないものは、日本サッカー協会競技規則(最新版)によって行う。
- (2) 大会に参加するチームは、競技規則および中体連サッカー部HPや通達などを、よく読んでおくこと。

## 7.チーム・ベンチ・選手の交代

- (1) ベンチは、本部よりフィールドに向かって左側を、組合せ番号の若いチームのベンチとする。
- (2) 試合前に登録選手30名の中からベンチ入りする20名の選手をエントリーする。また、ベンチ入りできるのは、この20名の選手と**学校関係者(教員・部活動指導員・生徒)及び、事前に承認された外部コーチ(1名)が、最大5名まで入ることができる。**また、アップのためフィールドに入れるのは、ベンチに入る20名の選手とする。
- (3) ベンチからの戦術的指示については、その都度ただ一人の役員(監督またはコーチ)がその場で(ベンチ内)行うことができる。ベンチから離れて指示することは禁止する。(テクニカルエリアが設けられている場合はエリア内で)責任ある態度で行動すること。**監督は引率教員もしくは教員に限る。**
- (4) 交代に関して、参加チームは交代要員9名の中から9名までの交代を、主審の許可を得てすることができる。また、交代して退いた競技者が再び交代要員となって出場することはできない。交代選手は、フィールド内の選手のユニフォームと同色でないピブスを着用すること。  
交代選手は、ウォームアップ・クーリングダウンのためにウォームアップエリアに入る時以外は、常にテクニカルエリア内のベンチに留まっていなければならない。
- (5) 交代しようとする選手は、交代カード(HPからダウンロードしプリントアウトする)に必要事項を全て記入し、この交代カードを持って、第4の審判席か本部席に申し出て、用具等の点検を受け、試合が中断された時に主審の許可を得て、ハーフウェイラインの中央付近から交代する。  
※一度退いた競技者が、交代要員となって出場する場合、その都度、上記の手続きを行う。
- (6) 次の場合は失格処分となり、次大会への参加については、本部・規律フェアプレー委員会で裁定により、参加申込権を失うことがある。

・当日、下記の事項を守れなかった場合

- ①チームは、遅くとも試合開始30分前迄には試合会場に到着し、チームの引率教員と主将は本部に報告する。
- ②チームの引率教員決められた時間までに、本部に試合参加同意書とメンバー表2部を提出する。  
(第1試合は試合開始30分前迄に、第2試合以後は前の試合のハーフタイム迄とする)
- ③退去の際は、きちんと後片付けをし、必ず本部に連絡してから帰る。
  - ・無断で試合を放棄したり、試合開始時刻15分前までにトスのできる状態にない時。
  - ・責任ある先生の引率がない時(原則として、トスには引率の先生が立会う)。なお、責任ある先生とは、出場校の教員および部活動指導員とする。
  - ・大会規定に違反した行為があつて参加した時。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに著しく違反した時。例えば、健康管理不十分な選手や体調不良の選手を健康と偽って出場させるなど。
  - ・特に「乱暴な行為など」により、大会の本部・規律フェアプレー委員会での裁定があつた時。
  - ・「参加する選手、指導者、チーム関係者は、大会に関わる全ての人々に対してお互いに尊重し、感謝の気持ちをもって接しなければならぬ。」という精神に反する行為があつた場合。

## 8. 服装規定

- (1) チームは日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に従って、必ず統一されたユニフォームに登録された背番号、胸番号(1~9番)およびチーム名もしくはチームエンブレムをつけて、2着用意すること。ただし、ユニフォームとはシャツ、ショーツ、ストッキングを意味し、それぞれの色が正副で異なっていることをいう。
- (2) 審判員と同一色、又は類似色(黒・紺系)のユニフォームをシャツに用いることはできない。ただし、ショーツやストッキングの色は黒でも可とし、組み合わせも可とする。
- (3) 選手は、ユニフォーム・スパイク・すね当てを着用し、試合に出場する前に必ず審判の点検を受けること。  
(違反する選手は試合に参加できない)
- (4) ユニフォーム以外の物は、一切身につけないこと。審判が他の選手に危害を与えると判断した時は、その選手は試合に参加できない。(金属付のショーツ・眼鏡・ブレスレット・ミサンガ・ネックレス等、また装身具を覆うテープの使用も不可とする。)
- (5) ユニフォームはきちんと着ること。(シャツだし、そでまくり禁止)
- (6) アンダーウエアはユニフォームの袖の主たる色と同色であること。  
また、アンダータイツ・アンダーストッキングはパンツの主たる色と同色であること。
- (7) その他の安全性を保つための装身具については、ルールブックに準ずる。

## 9. 退場

- (1) 本大会において、主審より退場を受けた選手は、自動的に次の1試合に出場することができない。
- (2) 以後の処置に関しては、本部・規律フェアプレー委員会において裁定する。
- (3) 審判により退場させられた選手の補充はできない。

## 10. 警告

- (1) 同一大会の中で警告を2回受けた選手は、自動的に次の1試合に出場することができない。
- (2) なお、以後の出場に関しては、本部・規律フェアプレー委員会において裁定する。

## 11. その他

- (1) 参加する各チームで用意するもの
  - ・ 1試合につき、メンバー表を2部、試合参加同意書を1部(HPからダウンロードしプリントアウトする)作成
  - ・ 交代用紙(HPからダウンロードしプリントアウトする) ・ 救急用品(本部には用意しておりません)
  - ・ 筆記用具(本部では貸出を行いません) ・ クズ入れ(ゴミはすべて持ちかえりです)
  - ・ 交代要員選手がベンチで着用するためのピブス。
- (2) チームとしての遵守事項
  - ・ 保護者が試合会場に車で来ることは禁止する。
  - ・ ベンチ入りしない生徒や保護者の応援は、決められた場所で行う。特にベンチ横、ゴール後方やタッチライン沿いでのサイドコーチは禁止する。
  - ・ 試合会場への服装は、普通の通学生活のような服装とし、サンダル履きや普段着で来ることは禁止する。
  - ・ 会場校に迷惑をかけないため、ビン、カンの持込みを禁止する。また、ゴミは必ず持ち帰ること。
  - ・ ゲーム中に使用した飲水のためのボトル・ペットボトルは、必ず持ち帰る。
  - ・ 練習中、会場の施設(ガラスなど)を破損したときは、その当該校の弁償とする。試合中については、対戦両校で弁償する。
- (3) 各チームへのお願い  
雨天決行を原則としますので、1・2試合目のチームは必ず会場まで来てください。(独自の判断で試合開始30分前に間に合わない場合には失格となります。) 大雨によりグラウンドの準備等が出来ない場合には、大会本部の判断で延期となる事があります。3試合目以降のチームは中体連のホームページを見て確認してください。
- (4) 感染症、地震等の自然災害や、それに伴う不測の事態の場合には、東京都教育委員会・東京都中学校体育連盟の指示を受け対応にあたる。